

ニュースリリース

「サブ波長の周期的構造や光学回折素子の設計・解析ツール DiffRACTMOD」

日本アールソフトデザイングループ株式会社(代表取締役社長 尾崎透徹 東京都港区芝1-9-6)は米国RSoft Design Group,Inc.(RSoft社)が開発しました光学回折素子やサブ波長の周期的な構造及びフォトニック・バンドギャップ結晶等の解析ができる“DiffRACTMOD”の販売を2004年6月15日より開始いたしました。価格は105万円から、初年度販売見込み30本、主にデジタル家電/光学機器メーカー、光部品/光半導体メーカー、WDM/SONET/SDH装置メーカー、光関連研究機関、大学に拡販する予定。

DiffRACTMODは、Rigorous Coupled Wave Analysis (RCWA)法をベースに高速フーリエ展開や transmission line法などの先進のアルゴリズムを含んだソルバーを採用しています。任意の2Dと3Dの格子構造や単位ユニット・セルの屈折率プロファイルを正確かつ効率的にモデル化でき、誘電物質に加えて分散や損失のあるような金属も解析可能です。光学回折素子、表面形状や屈折率グレーティング・デバイス、波長フィルタ、ナノ・リソグラフィー、平面ディスプレイ、光記憶装置、マイクロ配列レンズなどの設計、解析がすばやく正確に行えます。

DiffRACTMOD の主な特徴

- ・ BeamPROP と FullWAVE に完全に統合された CAD インターフェース
- ・ 2D と 3D の格子構造をすばやく生成する高度なユーティリティ
- ・ 簡単にコントロールできる任意の入射方向を備えたイルミネーション
- ・ 回折効率の計算、表示および出力スペクトル
- ・ 直線、円、楕円を含む任意の入射偏波
- ・ 任意のオーダーの回折効率データおよびグラフの生成
- ・ Poynting パワー・フローの計算および表示
- ・ 各フィールド・コンポーネントのフィールド・パターンの計算および表示
- DiffRACTMODはWindows 2000またはXP環境で稼働します。
- 記載されている社名や製品名は各社の登録商標または商標です。

より詳細な情報は

日本アールソフトデザイングループ株式会社

住所: 〒105-0014 東京都港区芝 1-9-6 マツラビル 2F

電話: 03-5484-6670 FAX: 03-5484-2288

URL: <http://www.rsoftdesign.co.jp/>

Email: akagi@rsoftdesign.co.jp

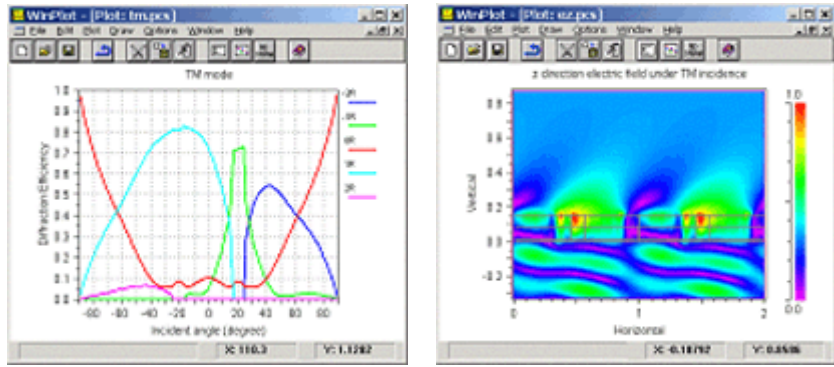
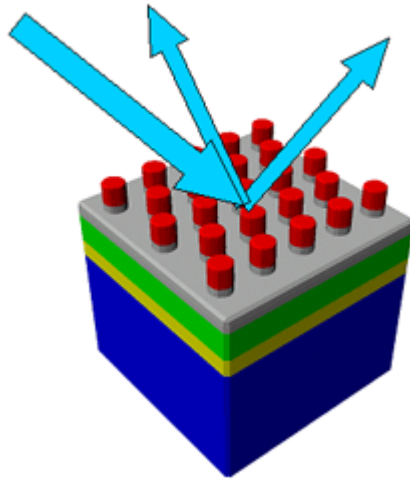


図 回折デバイスの設計と解析